

そよの子

令和5年度 山都町立蘇陽小学校 学校便り
No. 9 (R6. 3. 1)

学校教育目標：「ふるさとを誇り 夢の実現を目指す児童生徒の育成」
チャレンジが夢実現への第一歩

蘇陽小の実態①

3年生から6年生を対象に「令和5年度 熊本県学力・学習状況調査」を12月に実施しました。個別の結果については、2月13日に配付しています。学校では、調査結果をもとにして、個別の学習プリント、個別指導や一斉指導等で次年度を見通した学習に取り組んでいます。

また、本調査と同時に、「自己認識／社会性」「学級環境／生活・学習習慣」の状況が分かる「i-check」も行いました。蘇陽中校区共通の学校目標に関係する主な結果は、以下のとおりです。

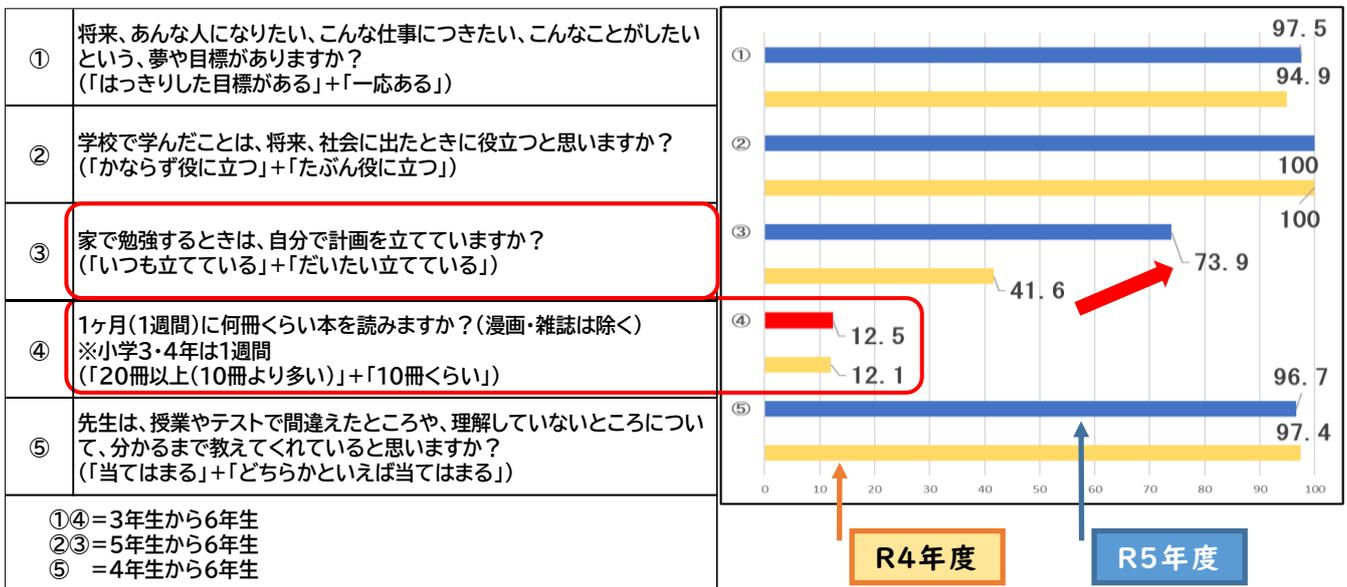
【成果】③家庭学習計画について、大きな伸びが見られました。

【課題】④読書量については、蘇陽小学校の課題です。



学校H.P.
2次元コード

子供たちの学校活動の様子等をご覧ください



蘇陽小の実態②

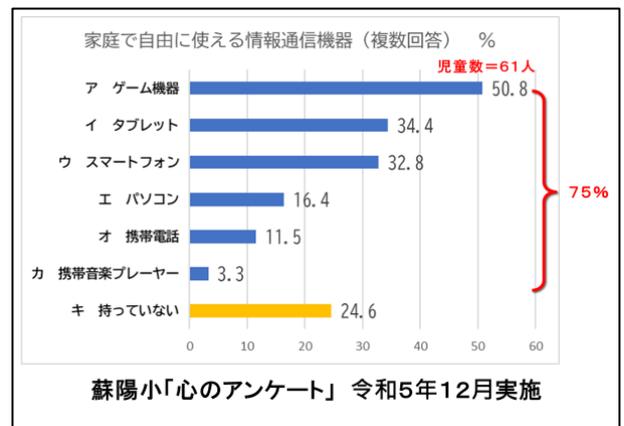
全学年を対象として「家庭で自由に使える情報通信機器」について、調査(複数回答)を行いました。

蘇陽小学校では、約75%の児童が、家庭で自由に使える情報通信機器を持っていることが分かりました。

2学期から「そよ風タイム」を使って、家庭学習計画を立てています。これは、時間の有効な使い方について、宿題・自学・習い事等の内容と時間を計画するものです。

総務省情報通信政策研究所(令和4年8月報告)の調査によると、10代のインターネット平均利用時間は、テレビ平均視聴時間の約3倍(インターネット191.5分/テレビ57.3分)となっています。

子供たちと一緒に「インターネット使用に関して家庭のルール(時間・場所・曜日等)」を決めて、メディアコントロールができるように、ご家庭のご協力をお願いします。



荘厳な二瀬本神楽

二瀬本神楽が、1月20日(土)にコミセンで行われました。二瀬本神楽保存会の皆さんが、演目【神風】【鎮守】【杉登】【五穀】を披露されました(途中休憩の時間までに)。

仁瀬本神社例祭とは違う神楽の演目があり、蘇陽小の子供たちも含めて観ていた人々は、迫力ある神楽に感動していました。

当日は、5年生の西史華さんとお姉さんが、巫女として活躍していました(写真②は、正月の様子です)。

また、地域の伝統文化を継承する大切さも感じました。

※蘇陽小校区では、高畑神楽も行われています。



【神風】



【鎮守】



【杉登】



【五穀】



【西さん①②】



野球しようぜ(大谷選手のグローブ)

全国の小学校に贈られた、大谷選手のグローブを昼休み等に使っています。(蘇陽小学校では、インフルエンザによる学年閉鎖があり、当初予定より遅れました)。

使用前には、6年生が考えた「使用のルール」を児童集会で全学年に伝えました。【使用のルール=大切に使う・ゆずり合おう・片付けよう】そして、各学年で大谷選手のメッセージを聞き(担任による代読)、個人でグローブに触れました。

貴重なグローブを寄付いただき、子供たちが野球に親しむ機会となっています。大谷選手に感謝します。これからも大切に使っていきます(写真は、2年生の様子です)。



薬物乱用防止教室(6年生)

2月15日(木)に、6年生を対象に「薬物乱用防止教室」を行いました。講師は、学校薬剤師の木山 誠先生(まこと薬局)でした。

初めに、令和6年能登半島地震におけるご自身の珠洲市での活動紹介がありました。「日頃からどんな準備をしておくか」等の話をされました。

薬物乱用教室では、「命がけて伝える」との思いで、「依存症」「孤立させない」「脳へのダメージ」等について分かりやすく話をされました。最後に、**命を守るキーワード**「『ほめる・認める・感謝する』を、自分の声に出して伝えること」・「『正しい知識』と心のブレーキを踏んでくれる『仲間』を、大切にすること」も話されました。

子供たちは、今回の内容を心に留め、仲間を大切にすることと成長していきます。

